



平成23年に発生した東日本大震災では、東北地方の太平洋沿岸を襲った津波によって多くの尊い命が犠牲になりました。この災害を受けて、悲劇を繰り返さないため、津波から国民の生命を守ることを目的とした「津波対策の推進に関する法律」が制定され、11月5日が「津波防災の日」と定められました。

11月5日というのは、江戸時代（1854年）に中部地方から九州地方の太平洋沿岸に大きな津波被害をもたらした、『稲むらの火』のモデルにもなった安政南海地震の発生した日です。

今年度は、新型コロナウイルス

感染症の感染拡大防止のため、総合防災訓練が開催できませんでした。津波防災の日を一つのきっかけとして、ご家族や地域で、地震・津波への防災対策について話し合ってみましょう。

稲むらの火

紀伊国広村（現和歌山県広川町）の濱口儀兵衛は、夕方に発生した巨大地震の後、津波の襲来を察知し高台の神社に避難した。その際に、暗い中、後に続く者のため大事な稲むらに火をつけ安全に誘導を行い被害の拡大を防いだ。後に村では4年がかりで堤防を築き、昭和南海地震（1946年）の津波でも集落が守られた。

●問い合わせ

総務課危機管理室 ☎ 77-2500

火災・救急・救助は



119 消防だより

秋季全国火災予防運動の実施について



毎年、11月9日から11月15日までの1週間を「秋季全国火災予防週間」と定め、全国で火災への注意が呼びかけられています。これからの季節、空気が乾燥して火災の発生しやすい気象状況が続きます。火の取り扱いには十分注意し、火災を起こさないようにしましょう。

令和2年9月出動件数

地区	弓削	生名	岩城	魚島	その他	合計	R2累計
火災	1	0	0	0	0	1	2
救急	11	9	3	1	0	24	302

（令和2年9月30日現在）

上島町消防署 ☎ 77-4118

令和2年度全国統一防火標語

「その火事を防ぐあなたに金メダル」

11月9日は「119番の日」

消防庁では、消防に対する正しい理解と認識を深め、防災意識の高揚、防災体制の確立を目的として11月9日を「119番の日」としています。

「火災や救急・救助などの緊急時には、119番による通報をお願いします。」

▶固定電話からの119番通報

消防署の位置情報システムによって通報場所が特定できるので迅速に出動することができます。

▶携帯電話からの119番通報

通報場所によっては、今治市や尾道市の消防署に繋がる場合がありますが、上島町消防署へ転送してもらえますので、電話を切らずに待ってください。

119番通報のポイント

① 通報した理由を伝える

最初に「火災」か「救急」か伝えて下さい。

② 場所を伝える

地区名と番地を伝えて下さい。番地や場所がわからない場合は、目標物などから伝えて下さい。

③ 状況を伝える

火災や救急の状況（何がどうした？誰がどうなった？など）を伝えて下さい。

④ 自分の名前（通報者名）と連絡先を伝える

状況などの再確認が必要な場合に、消防署から連絡をします。

※現場が確認できたら署員は出動していますので、落ち着いて③、④について説明してください。

①果実腐敗病の発生原因

果実腐敗の主な病名は緑かび病・青かび病です。病原菌は、このかんきつ園にも浮遊しているカビの1種です。正月の鏡餅に緑色のカビが生えるのも同じような菌です。このカビの菌は、元気なみかんの

かんきつの腐敗防止

今月から早生ミカンの収穫が始まります。大事に育てたみかんが収穫後に腐敗しては苦勞が報われません。出荷後の腐敗は、産地のイメージを下げ、価格への影響も心配されます。そこで、今回は、収穫期を迎えたかんきつの腐敗防止と収穫・選果時の注意点について紹介します。



②果実腐敗を減らすには

まずは、収穫時や選果時に果実に生傷をつけないことが基本です。傷の原因は、収穫するときの「はさみ傷」、風による「すり傷」などです。収穫の10～20日前をめどに、ベンレート水和剤4000倍とベフラン液剤2000倍の混用、または、ベフトップジンで防除します。不知火などで紙袋をかける場合



皮に付いても、腐りは発生しません。みかんの実にできた生傷、刺し傷などから病原菌が入って腐りの原因となります。また、気温が高雨の多い年は発生が多くなります。

ち、農薬が効きにくい菌がいます。それぞれの農薬で、抵抗性をも

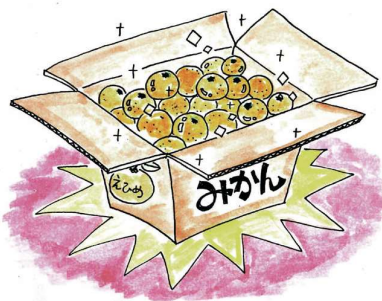
③なぜ農薬を2種類使うのか

使用薬剤	濃度	使用時期／使用回数	
		柑橘(温州みかん除く)	温州みかん
ベンレート水和剤 ＋ ベフラン液剤	4000倍	収穫前日まで/2回以内	収穫前日まで/4回以内
	2000倍	収穫前日まで/2回以内	収穫前日まで/3回以内
ベフトップジンフロアブル	1500倍	収穫前日まで/2回以内	収穫7日前まで/3回以内

は、ダニ剤を混用し、防除をしてからかけるようにしてください。せとかでサンテをかけている園では、果実まで薬剤が浸み込むように丁寧に散布してください。

収穫・選果時の注意点

今年の夏は高温乾燥により温州みかん、せとか等の中晩柑に日焼けが多く発生しました。着色前に除去していると思いますが、軽い日焼け果がそのまま樹上にある場合、その日焼け部分は果皮がやや硬くなり、果皮の下果肉部分の水分がない状態となります。収穫・選果時には、それらの果実が混入しないように注意が必要です。



また、ベフラン液剤は雨により効果が落ちていきます。それぞれの短所をおぎない効果を安定させるために混用して散布してください。以上のことに注意して、かんきつの腐敗防止に努めてください。出荷される方は、産地の評価を下げないよう個々の努力をお願いします。